



1 社会資本の概要

萬世大路は、明治初期に福島県と山形県を結ぶために建設された新道であり、当時日本最長のトンネルであった栗子隧道をはじめ、多くのトンネルや橋梁が最先端の土木技術により整備されました。特に、栗子隧道における山形県側の坑口は、明治時代と昭和時代に整備した双方が現存しており、二つの時代の構造を同時に見学することができます。

明治天皇により命名された萬世大路は、長らく福島・山形両県の経済発展を支える重要な交通基盤として機能しました。その役割は後に国道整備の進展によって終わりを迎えましたが、現在では「歴史の道百選」や「選奨土木遺産」に選定され、我が国の社会資本が発展してきた過程を示す貴重な歴史的遺産となっています。



福島県と山形県の県境に整備された栗子隧道(山形県側)



明治時代に整備された栗子山隧道(当時)



昭和時代に整備された栗子隧道(当時)

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

萬世大路という歴史的遺産を未来へ伝えるため、散策路の保全活動(草刈・倒木処理など)や樹木への名札の取り付け、散策ガイドマップの配布といった取り組みを行い、自然観察しやすい環境づくりに努めています。また、散策ガイド活動では、観光客や地元小学校の校外学習、市民や各種団体を対象に、萬世大路の歴史的価値を伝えるとともに、

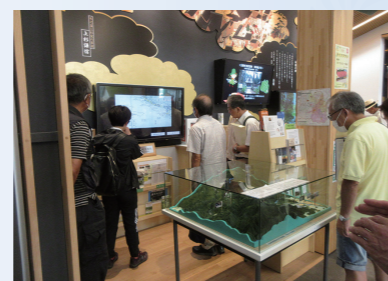
豊かな自然を体感できる場を提供しています。さらに学習・交流活動として、外部講師を招いた勉強会や福島県側の団体との交流を通じて知識の深化を図っています。加えて、「道の駅米沢」の萬世大路紹介コーナーでは、デジタルサイネージやジオラマ、パンフレット等を設置し広く情報発信にも取り組んでいます。



散策路の保全活動



自然観察の環境を整備(樹木等に名札を設置)



「道の駅米沢」の萬世大路紹介コーナー

3 活動の成果や波及効果等

保存会による継続的な散策路の整備と情報発信の取り組みにより、県内外の旅行会社がインフラツアーを実施するようになり、地域経済の活性化にも繋がっています。地元小学生の校外学習では、子供達から「歴史を感じた」「木や植物が沢山あった」「萬世大路を守ってほしい」「普段出来ない体験ができた」といった感想が寄せられています。また民間ツアー参加者からは「昔の人が歩いたままの空気感を感じ、非常に感動した」といった声もいただいております。多くの方々に萬世大路の魅力が伝わっています。



旅行会社による萬世大路ツアー



地元小学生の校外学習



散策状況

喜びの声



受賞者
歴史の道土木遺産
萬世大路保存会

コメント

万世地区全戸が会員であることが活動の原動力となり、倒木処理や草刈り及び土側溝の清掃など保全活動に取り組んでいます。活動のアイデア自体から手づくりなので、思いもかけない交流が生まれ、そこから歴史の繋がりを感じるが多くなりました。今後も手づくり感を大切に、50年後の萬世大路を手200年に向けて活動を継続していきます。

活動の内容

- 萬世大路散策路の保全活動
- 萬世大路や関連史跡等の散策ガイド
- 他団体との交流会や懇談会の実施
- 散策マップやガイドマップなどの作成
- 機関紙「萬世の大路」の発行
- 道の駅米沢に萬世大路紹介コーナーを常設して、情報発信

活動の経歴

- 平成 18年 歴史の道万世大路・万歳の松保存会 設立
- 平成 31年 歴史の道土木遺産萬世大路保存会に名称変更
- 令和 2年 未来に伝える山形の宝 登録
- 令和 5年 山形県文化財愛護川崎浩良賞 受賞
- 令和 6年 環境やまがた大賞 受賞

所在地 山形県米沢市

活動主体及び連絡先 歴史の道土木遺産萬世大路保存会
TEL:0238-28-5381
E-MAIL:banse-co@ms5.omn.ne.jp

対象となる社会資本 萬世大路 ※管理者:山形県

